

株主メモ Shareholder Information

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
各種お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに最新トピックスのほか、IR情報を随時発信し、ご提供しております。



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル100g/m²」を使用しております。



表紙

屋久島紀元杉

 中越パルプ工業株式会社

証券コード:3877




Chuetsu Pulp & Paper Co., Ltd.

株主の皆様へ
「ひと・もの・心」を大切に



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401

UD FONT

経営理念 Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくります。

Contents

● 経営理念	1	● 連結決算概要	8
● トップインタビュー	2	● 会社概要	9
● 特集 セルロースナノファイバー実用化への挑戦	5	● 株式の概況	10
● セグメントの概要	7		



「ネクストステージ50」の実践で
中越パルプ工業グループの
盤石な企業基盤を構築してまいります。

代表取締役社長 **かとうあきよし**
加藤 明美

Q 上半期の状況についてお伺いします。

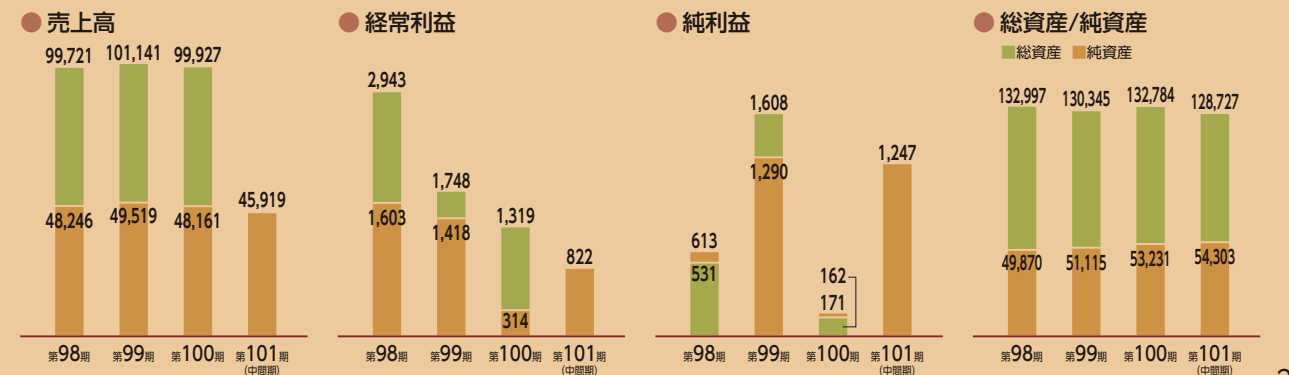
A 逆風といえる厳しい環境のなか、中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」の実践による収益基盤の構築に注力してまいりました。

紙の需要低迷が長期化する逆風のなか、当社グループは新規需要の獲得、拡販を営業活動の最重点課題と

して注力するとともに、新規事業である発電事業の安定操業による収益確保に努めてまいりました。

まず紙・パルプの生産販売につきましても、紙製品の販売価格が弱含みで推移するという厳しい状況のなか、拡販の取り組みにより増販できましたが、中国をはじめアジア市場での市況悪化に伴い、パルプの販売が減少したことにより、紙・パルプ合計の売り上げは、前年を1.7%下回る結果となりました。

連結業績推移 Consolidated Financial Highlights



つぎに川内工場木質バイオマス燃料発電設備を中心とする発電事業におきましては、トラブルなく安定した燃料調達により、順調に推移したことで計画通りの収益を確保いたしました。

その他、当社100%子会社であった中越パッケージ株式会社が製袋事業持株会社O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社の傘下となり、連結子会社から持分法適用会社へのグループ企業の再編がございました。

Q 中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」の進捗と今後の展開についてお聞かせください。

A 「ネクストステージ50」の早期完遂を目指し、さらにスピードを上げて取り組みを進めてまいります。また、「ネクストステージ50」の総仕上げに向けて、王子ホールディングス株式会社との共同出資事業に取り組んでいます。

1. 生産品種の構造転換と高級白板紙の共同生産

当社の主力製品比率を、高級白板紙や壁紙・カップ原紙など市況に左右されにくい品種への転換を進めるべく、高板・特殊用紙部を新設し新規需要の開拓を押し進めております。

生産設備につきましては、昨年7月にO&Cアイボリーボード株式会社を設立。

王子製紙株式会社 富岡工場の遊休設備を活用し、高級白板紙抄紙機への改造を進めております。

事業規模は両社合計で年間10万トンの生産販売体制の



構築を目標としております。

本年8月に上棟式を執り行い、無事故での完成を祈願しました。

現在、工事は順調に進んでおり、11月以降

主要設備の設置工事等を順次進め、来年春の稼働を目指してさらにスピードを上げて取り組んでまいります。

2. 包装用紙生産とグループ製袋事業の発展強化

包装用紙の品質向上によるシェアアップを図るため、川内工場と高岡工場において総額27億円をかけて抄紙機の改造工事を行いました。

本年5月には、O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社を設立いたしました。製袋事業体制の整備を早急に行い、国内における生産販売体制の再構築と、両社の有する海外事業拠点を基点にアジア圏での事業拡大を目標に取り組んでまいります。

3. 輸入チップの共同調達

昨年6月にO&Cファイバートレーディング株式会社を設立し、効率的な人員配置のもと、輸入チップ船の共同運航、輸入チップの共同調達によるコスト削減効果を



さらに発現し、競争力の強化を図ってまいります。

4. エネルギー事業への参入

エネルギー事業への参入につきましては、二塚製造部の2号ボイラーの継続稼働、川内工場唐浜メガソーラー発電所の稼働に加え、昨年11月に川内工場木質バイオマス燃料発電設備が本格稼働しました。

再生可能エネルギーの活用を中心とする発電事業は、安定操業の維持により確実に収益を確保しております。

5. コスト削減の取り組み

コスト削減につきましては、生産体制の見直しを含めた35億円/年の確保を目標に取り組みを進めております。

今中間期までの進捗は目標額の91%を達成しております。

社員の意識高揚によりさらなる上積みを図り、早期の達成を目指してまいります。

●「ネクストステージ50」コスト削減実績

最終目標額 (年間)		平成25年度~28年度第2四半期累計	
①パルプコスト	15	①パルプコスト	13
②エネルギーコスト	5	②エネルギーコスト	7
③抄紙コスト	2	③抄紙コスト	7
④固定費他	10	④固定費他	2
⑤関係会社	3	⑤関係会社	3
合計	35億円	合計	32億円

達成率 91%

6. セルロースナノファイバーの取り組み

セルロースナノファイバーの研究開発につきましては、事業化の環境が整ったことから、現在、川内工場において年間100トンの生産能力を有する第一期商業プラントの設置に着手いたしました。

来年春の稼働を目標に建設を進めるとともに、さらなる需要の掘り起こしに注力してまいります。また、生産設備につきましては今後の事業展開による増設も視野に入れております。

Q 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A 不屈の精神をもって盤石な企業基盤を構築してまいります。

計画の総仕上げに向けて、未達の案件につきましては、さらにスピードを上げて早期達成を図るとともに、王子ホールディングス株式会社との提携効果の早期実現により収益の最大化を目指してまいります。

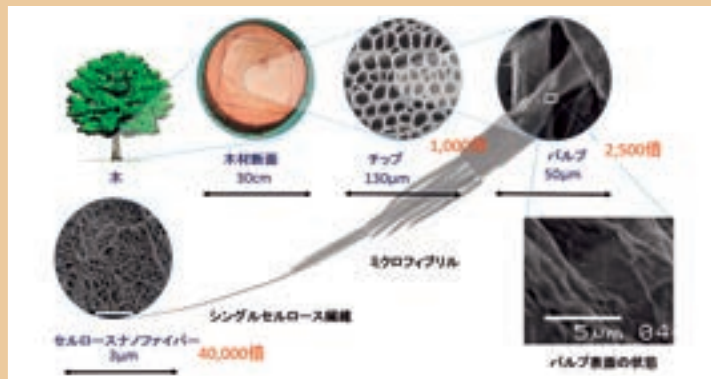
株主の皆様ごの期待に応えるとともに、経営理念に掲げる「愛され信頼される企業」を目指してグループ一同不屈の精神をもって盤石な企業基盤を構築してまいりますので、より一層のご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

セルロースナノファイバー実用化への挑戦

当社は長年にわたり培ったパルプ製造技術を活用し、次世代の素材として期待されるセルロースナノファイバーの実用化に向けて研究開発を進めてまいりました。

1. セルロースナノファイバーとは

植物が創造した髪の毛の1万分の1程度の細さの天然結晶性繊維です。重さは鉄の5分の1、強さは鉄の5倍の強度をもち、プラスチック素材に添加する用途で、自動車部品、電子機器をはじめ様々な分野での利用が期待される次世代の新素材です。

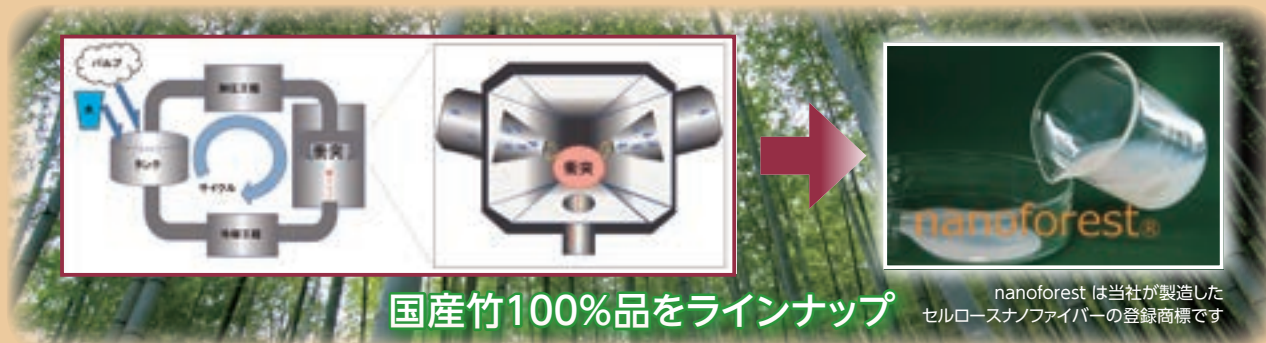


セルロースナノファイバー 微細化のイメージ

2. 当社品の特徴について

当社のセルロースナノファイバーの最大の特徴は、パルプ繊維に水を衝突させることで微細化する水中対向衝突法(ACC法:Aqueous Counter Collision method)という製法にあります。化学薬品を使用しないため人体、環境への影響もな

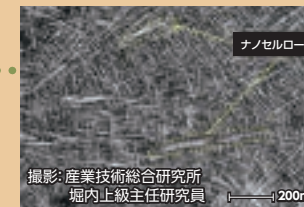
く、産業用素材のほか、食品、医療分野への応用も可能です。また木材由来のほか、当社独自の竹パルプからセルロースナノファイバーを製造しておりラインナップが充実していることも大きな特徴です。



3. これまでの歩み

平成21年3月、研究に着手。九州大学との共同研究において現在の製法を確立、実用化に向け日夜研究開発を行ってまいりました。

- 平成21年 3月 研究開発に着手
- 平成23年 4月 九州大学との共同研究を開始
- 平成23年12月 開発本部発足、研究規模を拡大
- 平成25年 3月 セルロースナノファイバーサンプル提供を開始
- 平成27年 1月 出光ライオンコンポジット株式会社、株式会社三幸商会との研究開発で複合樹脂の開発に成功
- 平成27年11月 オンキヨー株式会社のスピーカー振動版に採用



①複合樹脂の顕微鏡画像



③スピーカー振動版に採用

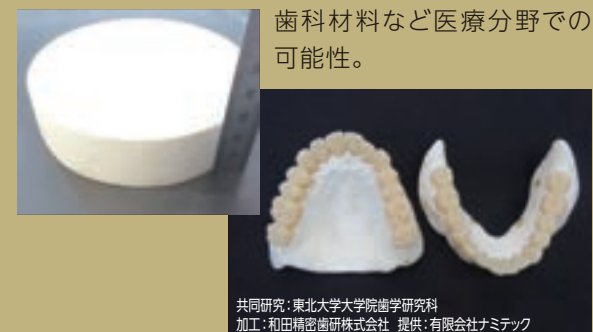


②複合樹脂を使用した成形品

4. 可能性への挑戦

複合樹脂に留まらず、様々な分野への活用について研究開発を進め、セルロースナノファイバーのもつ可能性に挑戦しています。

●セルロースナノファイバー100%成形体



●カーボンナノチューブ*複合シート

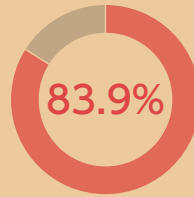
電子機器分野での可能性。セルロースナノファイバーへの配合により導電性をもつ素材となる。



*炭素原子が円筒状に結合したもの。銅と比べ導電性に優れ、情報・通信、エネルギー等、広範な分野での応用が期待されています。



●紙・パルプ製造事業

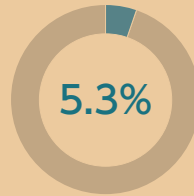


連結売上高 **38,566百万円** (前年同期比 1.7%減) 連結営業損失 **62百万円** (前年同期は200百万円の連結営業損失)

国内需要の低迷が続くなか、新規需要の獲得や拡販、コスト削減など収益力の強化に努めましたが、販売価格が弱含みで推移したこと、また中国をはじめアジア市場での輸出市況の悪化に伴いパルプの販売が減少した結果、売上高が減少しました。
営業損失につきましては、コスト削減など収益力の強化により損失が減少しました。



●紙加工品製造事業

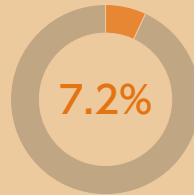


連結売上高 **2,425百万円** (前年同期比 60.7%減) 連結営業利益 **27百万円** (前年同期比 70.8%減)

連結子会社であった中越パッケージ株式会社が製袋事業持株会社の傘下子会社として、持分法適用会社へ異動したことにより売上高、利益ともに減少しました。



●発電事業

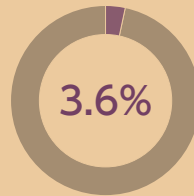


連結売上高 **3,295百万円** (前年同期比 312.1%増) 連結営業利益 **808百万円** (前年同期比 198.5%増)

生産本部二塚製造部2号ボイラーの継続稼働、川内工場唐浜メガソーラー発電所の稼働に加え、昨年11月に本格稼働した川内工場木質バイオマス燃料発電設備の安定操業により増収増益となりました。



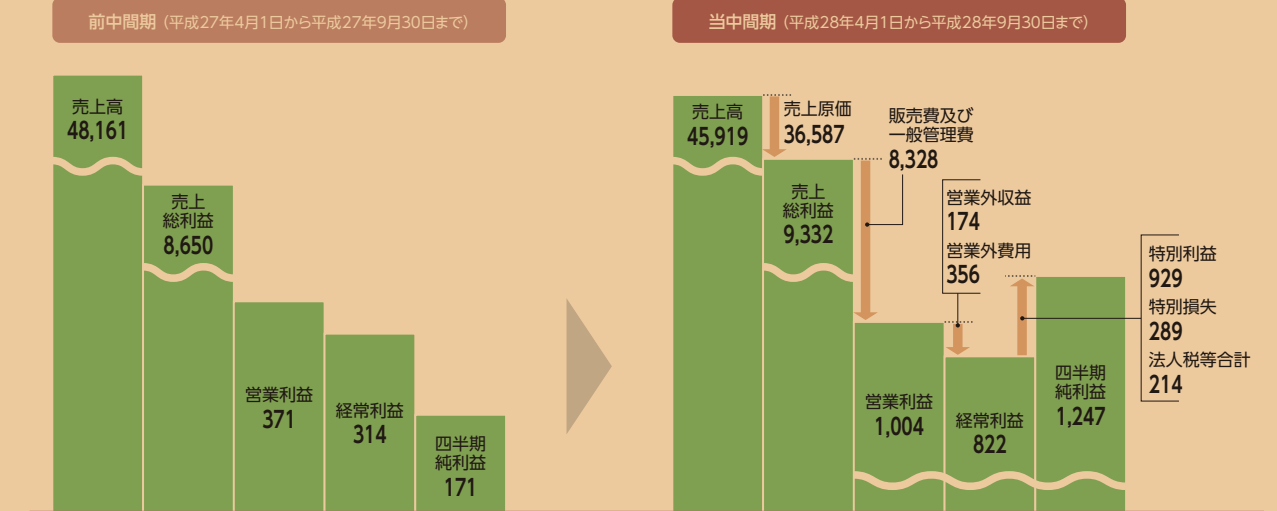
●その他の事業



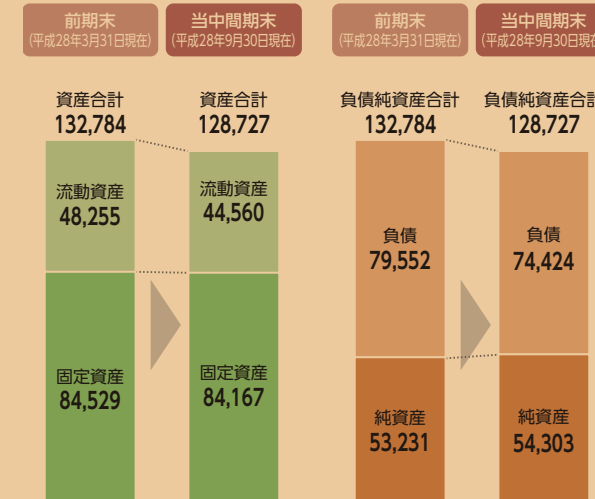
連結売上高 **1,632百万円** (前年同期比 17.2%減) 連結営業利益 **191百万円** (前年同期比 9.0%増)

公共工事等の受注減少により建設事業につきましては減収となりましたが、紙断裁選別包装・運送事業につきましては、紙製品の生産・出荷増にともなう操業率向上の効果で増益となりました。

●連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



●連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



●連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

科目	前中間期 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)	当中間期 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,232	5,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,423	△4,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,964	△1,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△226	△479
現金及び現金同等物の期首残高	5,782	6,624
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△15
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,555	6,129

会社概要

Company Information

会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
 本店所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
 創業 昭和22年2月
 資本金 18,864百万円
 グループ従業員 1,477名
 主要な事業内容 ◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売
 事業所 東京本社 高岡本社
 大阪営業支社 名古屋営業所
 福岡営業所 北陸営業所
 川内工場 高岡工場
 生産本部 二塚製造部

役員 (平成28年9月30日現在)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
 代表取締役社長 加藤 明美
 専務取締役 植松 久
 常務取締役 高岸 伸
 常務取締役 楠原 勝市
 取締役 三浦 新
 取締役 地蔵 繁樹

※各取締役(監査等委員である取締役を除く。)は、執行役員を兼務。

監査等委員である取締役
 取締役 常任監査等委員(常勤) 小林 敬
 社外取締役 監査等委員 杉島 光一
 社外取締役 監査等委員 山口 敏彦

グループ概要 (平成28年9月30日現在)

紙・パルプ製造事業	三善製紙株式会社	その他関係会社	中越パルプ木材株式会社 九州紙管株式会社 石川紙工株式会社 有限会社南薩緑化センター
紙加工品製造事業	株式会社文運堂		○&Cアイボリーボード株式会社 ○&Cファイバートレーディング株式会社 ○&Cペーパーバッグホールディングス株式会社
その他の事業	中越緑化株式会社 中越物産株式会社 中越ロジスティクス株式会社 中越テクノ株式会社 共友商事株式会社		中央紙工株式会社 東北中部紙工株式会社 青森オータイ株式会社 株式会社楠見製作所
持分法適用会社	中越パッケージ株式会社 中部紙工株式会社 王子製袋株式会社 上海東王子包装有限公司 王子包装(上海)有限公司 王子製袋(青島)有限公司		Japan Paper Technology(Viet Nam)Co.,Ltd. Japan Paper Technology Dong Nai(VN)Co.,Ltd. エヌシー共同開発株式会社 New Zealand Plantation Forest Co.,Ltd. Acacia Afforestation Asia Co.,Ltd.

株式の概況

Stock Information

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

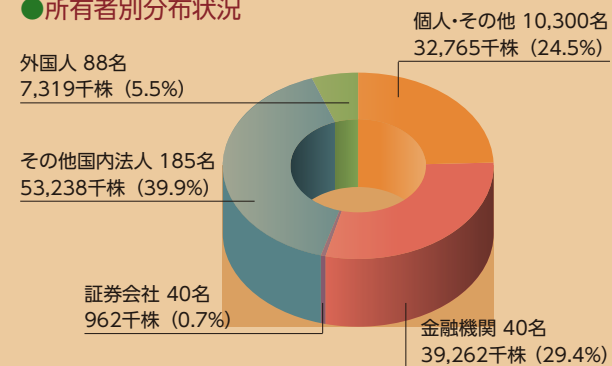
発行可能株式総数 450,000,000株
 発行済株式の総数 133,546,883株
 株主数 10,653名

●大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子ホールディングス株式会社	27,539	20.62
日本紙パルプ商事株式会社	7,106	5.32
株式会社北陸銀行	5,735	4.29
新生紙パルプ商事株式会社	5,648	4.22
国際紙パルプ商事株式会社	5,341	3.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,746	3.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	4,067	3.04
株式会社みずほ銀行	4,013	3.00
農林中央金庫	4,013	3.00
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,379	1.78

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

●所有者別分布状況



第100期定時株主総会における議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況
 議決権を有する株主数 8,881名
 議決権の数 133,100個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,876名	127名	3,003名
議決権行使個数	79,765個	29,318個	109,083個
行使率	59.9%	22.0%	81.9%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	107,164個	176個	0個	98.24%
第2号議案 定款一部変更の件	104,141個	3,199個	0個	95.47%
第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件				
①加藤 明美	100,440個	6,900個	0個	92.08%
②植松 久	104,528個	2,812個	0個	95.82%
③高岸 伸	104,528個	2,812個	0個	95.82%
④楠原 勝市	105,952個	1,388個	0個	97.13%
⑤三浦 新	105,937個	1,403個	0個	97.12%
⑥地蔵 繁樹	105,936個	1,404個	0個	97.12%
第4号議案 監査等委員である取締役3名選任の件				
①小林 敬	106,842個	498個	0個	97.95%
②杉島 光一	106,905個	435個	0個	98.00%
③山口 敏彦	106,920個	420個	0個	98.02%
第5号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬等の額決定の件	107,025個	317個	0個	98.11%
第6号議案 監査等委員である取締役の報酬等の額決定の件	107,019個	323個	0個	98.11%

賛成数は、事前行使における賛成数と当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数を合計したものです。